

# HIGASHI OSAKA MIDORI R.C



SERVE TO CHANGE LIVES

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区  
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日  
会 長 北 井 孝 彦  
幹 事 表 孝 典  
会報委員長 井 上 善 博

2022-4-21 (第1012回)

## 今週のプログラム

≪4月21日(木)例会 KKR ホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「聞いて楽しむ日本の名作」

辻 茂君

♪本日の歌 「奉仕の理想」

## 来週の予定

≪4月28日(木)公休日≫

## 先週の出席者

≪4月07日(木)花見例会(移動例会)≫

会員数17名 出席者8名(57.1%)

\*12月16日(木)例会修正出席率 76.9%

会員数17名 例会出席者8名/メークアップ2名

## 幹事報告

幹事 表 孝典君

◎次週の例会(4/28)は公休日です。

◎5/5(木)の例会は、祝日の為休会です。

◎4/24(日)、東大阪中央 RC 創立 50 周年式典に、会長幹事で出席してまいります。

### ≪4月度定例理事会議事録≫

日 時 2022年4月21日(木) 17:50 ~

場 所 玄清寺

出席者 北井、田村、阪田、井上、谷口

(欠席者 政岡、木戸、小寺、表)

◎4・5月行事予定

4月7日(木) 定例理事会・花見例会

米山奨学生オリエンテーション

(島カウンセラー)

4月9日(土) 次年度の為の地区協議会

4月14日(木) 公休日

4月24日(日) 東大阪中央 RC 創立 50 周年式典

(北井会長、表幹事)

4月28日(木) 公休日

5月3日(火) 春のライラ (~5日)

5月5日(木) 祝日休会

5月8日(日) 東大阪市民ふれあい祭り

5月12日(木) 定例理事会

5月19日(木) 公休日

5月26日(木) G 補佐・G 補佐エレクトとの新旧

クラブ協議会

5月28日(土) 地区会員増強セミナー

(田村会長エレクト・北井次期増強担当)

◎議 案

1. ウクライナへの寄付について

国際奉仕の予算より3万円を地区へ送金。

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel. 0742-55-4869 Fax. 0742-51-1067

E-mail midorirc1126@gmail.com



2. 東大阪市民ふれあい祭りについて  
今年度は2年ぶりに開催決定(5/8日)  
後日協賛金(3万円)の送金を行うことと、当日東輪会としてパレードに出来る限り参加お願い致します。
3. 新旧クラブ協議会について  
5/26(木)例会前に大谷ガバナー補佐と伴井ガバナー補佐エレクト同席の新旧クラブ協議会には現・次年度理事メンバーの出席を出来る限りお願い致します。
4. 春のライラについて  
5/3～5まで開催予定。当クラブとしては会員登録3名分(9,000円)を協力する為送金する。
5. 会長幹事慰労会について  
井上例会担当より、年間行事予定表通り、6月18日(土)に行う予定。内容等の企画を行う。

## 会長の時間

会長 北井孝彦君

皆さんこんばんは。

本日は移動花見例会で杉森会員の玄清寺にお邪魔させていただきました。満開の時期は過ぎてしまいましたが、素晴らしいお庭に桜の花の絨毯ができていて、本当に綺麗です。また、例会開会前には奥様のお点前を頂戴致しました。感謝です。

本日は「玄清寺」についてお話をさせていただきます。

浄翁山玄清寺(げんせいじ・浄土宗)河内西国霊場第23番札所慶長2年(1597)額田村の高内正定(定行の子)が聖誉上人を招じて開かれた。山号の浄翁山玄清寺は高内正定が浄翁玄清居士と称したところから名付けられました。

高内正定は織田信長に従い大坂石山本願寺との戦いに参加したが、その戦没者の霊を弔うために、この寺を建立し、高内氏の菩提寺とした。享保2年(1717)寂誉上人の時、高内の人々が施主となり政治家の先祖、藤原貞三が頭領となり、上棟されたことが記された棟札が残されています。

また、第22番札所額田寺や長尾・不動寺などと共に、この辺りの寺院の創建には、この地の名族高内一族が深くかかわっており、当寺の墓地には高内正貞を始め高内一族の墓碑が多くあります。

本尊は、阿弥陀如来座像(像高93cm、木彫漆箔、来迎印を結んでいる)。観音堂(元文元年、1736)には、聖観音像(東向き観音)と地藏像、そして、貴重な文化財の聖徳太子二歳像(南無仏太子像、童形半裸合掌の立像、像高69cm、檜寄木造、室町時代)が安置されている。

《高内氏》

武内宿彌の子孫、平群木兔宿彌(へぐりのつくのすくね)の後裔、高内皆人(たかのうちのみなど)が承和13年9月(846)天皇より額田首の姓を賜り、この地に赴任して以来、現在まで約1170年余になります。

楠正行と共に四条畷合戦で戦った定行(正定の父)の父高内定元は楠木正成に従い赤坂城で戦死しています。

この事は、同家系図に「楠家ニ属シテ赤坂城ニテ戦死ス」とあり、息子の定行の項に「同家ニ属将ニ従ヒ南朝御簾ヲ拜ス」とあり、戦死したとの記述はないので余生を全うされた。と考えられています。

また、奇しくも明日4月8日は花祭りお釈迦様の誕生日とされています。

## 卓話抄録

### 「茶道について」

杉森隆志君

今日は移動例会で玄清寺の場所で開催され、お茶をお出ししたので、まず茶道の心得について卓話をいたします。

茶道を通して礼儀作法や一定の時間の集中力、他人に対する気遣いや心配りを身につけることは社会で役に立つことです。日頃慌ただしくしていても、気持ちを切り替えて、心を落ち着けて雑念を払い静寂の中で一服のお茶を味わうことは、貴重な時間となるのではないのでしょうか。

茶道と言うと何か堅苦しいと感じてしまいますが、作法にとらわれず、心地よさを味わうことが大事です。

茶道の大家である千利休の説いた茶道の心得「四規七則」と「一期一会」について



## 四規七則 茶道の大家、千利休が説いた茶道の心得

### 四規

- ・和 お茶を通じて和む（仲良く）心を養う
- ・敬 お互いに尊重し合う（悪いところを捜すのではなく良いところを見出して褒める）
- ・清 心の清らかさを保つ（心を落ち着かせ物を大切にすることを養う）
- ・寂 どんな時にも動じない（つつましくおごらないようにする）

### 七則

- 一、茶は服のよきように点て、（飲む人がおいしいと感じるように心を込める）
- 二、炭は湯の沸くように置き、（湯加減という本質を見極める）
- 三、花は野にあるように、（季節感を大切に、野に咲くように自然に生ける）
- 四、夏は涼しく冬暖かに、（冬も夏もそれらしく環境を整える）
- 五、刻限は早めに、（時間には余裕を持つ）
- 六、降りずとも傘の用意（何事にも怠らず準備を整える）
- 七、相客に心せよ（やわらかい心を持ち、最大限のもてなしの心を忘れない）

### 一期一会

千利休が広めた言葉であるが、井伊直弼が武家の一派をつくり精神性を深める侘びの茶を目指して書いた『茶湯一会集』の中に書かれています。「たとえ同じ顔ぶれで何回も茶会を開いても、ただ今のこの茶会は決して繰り返すことのない一生に一度の茶会だと思って、粗雑にするのではなく真剣な気持ちで何事もおざりにすることなく、主・客と共に互いに誠意を尽くして一服の茶を点てていただかなければならない」ということです。

### 残心余情

「一期一会 残心余情」で成句になっている。「主・客とも残心余情の中で別れの挨拶をする。客は露地を帰るその道すがら、どんな感動が深かつ

たとしても大声でしゃべるものではない。亭主は客が見えなくなるまで見送り、去り行く人に幸せをと念じて見送った後、戻って一人炉の前に座り、一期一会を味わい一人茶を点てて自己と向き合うのが茶道の奥義である。」

「出迎え三步、見送り七歩」という言葉がありますが、最後まで細やかな心配りも茶道の大切な心得であります。

千利休は「茶道の奥義は何か」と聞かれ、「ただおいしいお茶を点てていただくだけである」と答えました。つまり現代的に言えば、マニュアルや形式など表面的なことだけにこだわらず、T. P. O（時、場所、目的）をよくわきまえ、心身ともに自然体で物事の本質を知ることが大切です。

続いて、今世界がロシア、ウクライナ問題で混乱している状況なのでこのことについて少し話をします。

ロシアがウクライナに侵攻して一ヶ月以上が経ちますが、一向に先が見えず民間人を含む多くの犠牲者が出ています。

人類の永い歴史を振り返ってみると、戦争や紛争が世界のどこかで起こって来ました。お釈迦さまの時代も争いが絶えなく、負傷し、亡くなる人も多くおられました。このことに強く心を痛めたお釈迦さまは、命の尊さを強く感じられ仏教を開かれました。

多くの宗教団体が今回の件に対して、即時停戦し平和を願う声明を出しています。人間同志がにらみ合い、殺し合うことはあってはならないと改めて命の尊さを考えなければならぬのではないかと思います。

生命科学の権威である村上和雄先生は、「地球上に約38億年前に最初の生物が誕生し、様々な進化を繰り返し人類が誕生した。どれだけ科学が進歩しても人間の細胞の一つである大腸菌すら造ることはできない。この世に生まれてきたことが奇跡と言うことができ、大変すばらしいことである。」とされています。生きていることのありがたさ、命の大切さをもう一度確認して、一刻も早く戦争が終息すること願っています。

あいみ さから な  
相視て笑い、心に逆ふこと莫し「莫逆の交」を目指そう!!

2021～2022年度 東大阪みどりRCのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ

4/7(木)花見例会ということで、杉森会員の玄清寺にて移動例会を行いました。お食事はKKRホテルから配達頂き、また奥様にはお茶を点てて頂いたり大変お世話になりました。この日は米山奨学生の羅 婕今(ラ ショウキン)さんがオリエンテーションから島カウンセラーと共に参加しました。涼ちゃんと呼んであげてください。



あいみ  
相視て笑い、心に逆ふこと莫し「莫逆の交」を目指そう!!

2021～2022年度 東大阪みどりRCのテーマ



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ